

風水害に備える

大雨や台風は毎年大きな災害をもたらします。特に近年は「局地的大雨(ゲリラ豪雨)」や「集中豪雨」と呼ばれる大雨で人命が奪われることがあります。しかし、そのような危険が近づいている際に、警報等の防災気象情報を利用することで被害を未然に防いだり、軽減したりすることが可能です。大雨や台風接近のニュースや気象情報を見たり聞いたりしたら、災害への備えをもう一度確認しましょう。

毎年発生する大雨や台風による災害から身を守るためのポイント

point 日ごろから「ハザードマップ」で危険箇所をチェック

大雨や台風のときには河川の増水や高波などの危険が予想されます。この「防災ハンドブック」に掲載されている「ハザードマップ」32P～には、河川が氾濫した場合に浸水が予想される危険な場所などが示されています。危険な場所に近づかないようにするため、日ごろから「ハザードマップ」で危険箇所を確認しておきましょう。



point 「防災気象情報」を活用して大雨や台風接近に備える

大雨や台風のときに役立つのが、気象庁が発表している気象警報・注意報などの「防災気象情報」です。「キキル」2Pなどで最新の情報を入手するように心掛けるとともに、この「防災ハンドブック」の「防災情報と取るべき行動」2Pを確認し、早めの防災行動をとるようにしましょう。

point 台風が通り過ぎ、雨がやんでもしばらくは警戒を続ける

台風が通り過ぎ、温帯低気圧に変わっても、吹き返しの強い風が吹いたり雨が降り続いたりすることのほか、雨がやんだ後もこれまでに降った雨により河川が増水することがあります。警報や注意報が解除されるまでは、警戒を続けましょう。

雨や風が強くなる前に、家の外と中の備えの確認を

家の外の備え

- 窓や雨戸 しっかりと閉め、必要に応じて補強する。
- 屋外のを家中にしまう 風で飛ばされそうな物干し竿や植木鉢などは家中にしまう。

- 自動車 ガソリンを満タンしておく。

雨や風が強くなってからでは、外での作業は危険です！

- 側溝や排水溝 掃除して水はけをよくしておく。
- 風で倒れそうなもの 庭木やプロパンガス、テレビアンテナをしっかりと固定する。

家の中の備え

避難が必要になったときに備え、「災害の「備え」チェックリスト」8Pで非常用に持ち出すものの確認も行っておきましょう。



- 非常用持ち出し品を確認する。
- 窓ガラスに飛散防止フィルムを貼る。
- 水を確保する。
- スマートフォンなどをフル充電する。

土砂災害に備える

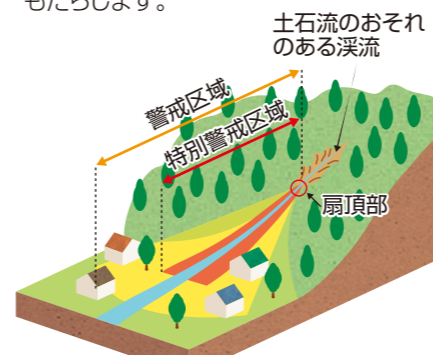
糸魚川市は地形や気候条件から土砂災害の起こりやすい地域です。土砂災害はすさまじい破壊力を持つ土砂が、一瞬にして多くの人命や住宅などの財産を奪う恐ろしい災害です。身を守るためには土砂災害がどのようにして起こるのか、その前兆などを知り、万が一のときに備えて、早めの避難行動ができるポイントをあらかじめ知っておくことが重要です。

土砂災害の種類と前兆現象

土石流

特徴

谷や斜面に溜まった土や石、砂などが、大雨による水と一緒に一気に流れ出して起こります。破壊力が大きく、また流れる速度も速いため、大きな被害をもたらします。



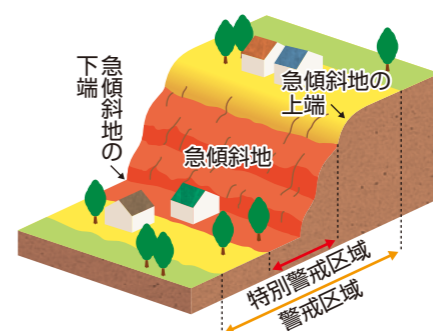
土石流の兆候

- ・ 山鳴りや、立ち木の裂ける音、石のぶつかり合う音が聞こえる。
- ・ 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。
- ・ 川の水が急に濁り、流木が混ざり始める。

がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

特徴

地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちるのが、がけ崩れです。突発的に起こり、瞬時に崩れ落ちるので、逃げ遅れる人も多く、被害が大きくなります。



がけ崩れの兆候

- ・ がけから出てくる水が濁る。
- ・ がけに亀裂が入る。
- ・ 小石がパラパラ落ちてくる。

地すべり

特徴

比較的緩やかな斜面において、地中の粘土層などのすべりにくい面が地下水などの影響で、ゆっくりと動き出す現象です。一度に広範囲で発生するために、住宅や道路、鉄道などに大きな被害を及ぼします。



地すべりの兆候

- ・ 地面にひび割れができる。
- ・ 沢や井戸の水が濁る。
- ・ 斜面から水が噴き出す。

早めの避難行動をするために知っておくポイント

point 住んでいる場所が「土砂災害警戒区域」内にあるかを確認

土砂災害のおそれのある区域は「土砂災害警戒区域」とされており、この「防災ハンドブック」の「ハザードマップ」32P～に表示されています。まずは住んでいる場所がその範囲内にあるかどうか確認しましょう。範囲外でも普段の行動範囲や避難場所までの経路が警戒区域に含まれていないか注意しましょう。

point 雨が降り出したら「土砂災害警戒情報」に注意

都道府県と気象庁が共同で発表する「土砂災害警戒情報」は、大雨による土砂災害発生の危険度が高まったときに、糸魚川市が避難指示を発令する際の判断や住民の自主避難の参考となる防災情報です。新潟県土砂災害警戒情報システムや気象庁「キキル」2Pなどで最新の情報を入手しましょう。

point 警戒レベル4で全員避難する 「防災情報と取るべき行動」2P

「土砂災害警戒情報(警戒レベル4相当情報)」が発表されたら、糸魚川市からの避難指示に留意するとともに家族・親戚や地域の方々に声かけをして早めに避難をしましょう。また、お年寄りや障害のある方などは避難に時間がかかることを想定し、高齢者等避難(警戒レベル3)での行動ができるように地域で協力しましょう。



新潟県土砂災害警戒情報システム